



愛媛大学



高知大学



三重大学



和歌山大学

令和5年1月5日

ご取材のお願い

「地方国立大学改革シンポジウム」開催

— 地方国立大学の価値を共に考える —

～地方創生に資するキラリと光る国立大学の実現～

都市圏よりも人口減少が加速度的に進む地方において、地域課題は複雑化しています。地域に限らず配置された国立大学は、自らの学生・研究成果等のリソースを最大限生かし、様々なステークホルダーと連携しながらこの地域課題と向き合い続けています。地方国立大学の未来を考える場合、各地方が持つ強みや特色・多様性を活かす活動支援の条件整備と評価体系が重要となります。

本シンポジウムでは、「地方における新たな国立大学像」を提起・実践する地方国立大学長が参集し、地方創生に資するための新しい取組の共有とともに、取組の条件整備や社会的インパクト評価の在り方について共に考えていきたいと思えます。

【日 時】 2023年1月23日（月） 13:00～16:30（受付12:00～）

【会 場】 一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術情報センター2F）

【登壇者】 ゲスト大学 愛媛大学長 仁科弘重氏

高知大学長 櫻井克年氏

三重大学長 伊藤正明氏

主催・ホスト大学 和歌山大学長 伊東千尋

※シンポジウムのプログラムの詳細については、別添チラシをご参照ください。

【参加お申込み】

下記URLからお申込みください。

(<https://www.kuba.co.jp/region-national-university/form/formmail.cgi>)

※詳細については別添チラシの「申込方法等」をご参照ください。

【取材留意点】

- (1) 当日の取材を希望される場合は、下記担当まで事前に連絡してください。
当日の連絡も可能です。
- (2) 当日の取材受付は12:00より開始します。
- (3) 会場内での取材位置は受付時に指定します。
- (4) 取材時は、各社プレス証（腕章）を着用し（カメラマン等も含む）、本学担当の指示に従うようお願いいたします。
- (5) 会場内の電源は使用できません。
- (6) 報道関係者用の駐車場は用意しておりません。予めご了承ください。
- (7) 登壇者のぶら下がり取材はありません。

＜本件担当（お問合せ先）＞

国立大学法人和歌山大学企画課

電話：073-457-7022、7016

メール：kikaku@ml.wakayama-u.ac.jp

地方国立大学改革シンポジウム

地方国立大学の 価値を共に考える

～地方創生に資するキラリと光る国立大学の実現～

都市圏よりも人口減少が加速的に進む地方において、地域課題は複雑化しています。地域に限らず配置された国立大学は、自らの学生・研究成果等のリソースを最大限生かし、連携しながらこの地域課題と向き合い続けています。

地方国立大学の未来を考える場合、各地方が持つ強みや特色・多様性を活かす活動支援の条件整備と評価体系が重要です。

都市と地方の格差は拡がり続ける中、一律の物差しや多様性の視点を欠く評価だけでは、地方国立大学が「魅力ある地域」を創り続けることは困難です。

本シンポジウムでは、「地方における新たな国立大学像」を提起・実践する地方国立大学長をお招きして、地方創生に資するための新しい取組の共有とともに、取組の条件整備や社会的インパクト評価の在り方について共に考えていきたいと思えます。

開催日時

令和5年 **1月23日** (月) 13:00～16:30 (開場 12:00)

会場

一橋講堂 (東京都千代田区一ツ橋2丁目1-2 学術総合センター2F)



 愛媛大学長
仁科 弘重 氏

東京大学大学院農学系研究科修士課程修了(農学修士)。東京大学農学部助手に就任し、農学博士の学位取得。1986年に愛媛大学農学部着任、1998年に教授就任。植物工場における環境制御、植物を利用したアメニティ空間創出の研究に従事。その後、同学部長、植物工場研究センター長、理事・副学長(社会連携担当)、日本学術会議会員等を歴任。
2021年4月より現職。



 高知大学長
櫻井 克年 氏

京都大学大学院農学研究科農芸化学専攻博士後期課程研究指導認定退学(農学博士)。京都大学農学部助手を経て、1989年に高知大学着任。タイ、マレーシアなど東南アジアの山地の熱帯土壌と生活に関する地域研究を展開。2005年に学長特別補佐、その後、経営・管理推進本部長、副学長(総務担当)、理事(総務・国際・地域担当)等を歴任。
2018年4月より現職。



 三重大学長
伊藤 正明 氏

三重大学医学部医学科を卒業。同学医学系研究科循環器・腎臓内科学、同学医学部附属病院の循環器内科に勤務し、2006年に教授就任。2013年から6年間、同学医学部附属病院病院長を務め、同学副学長も兼任。
2021年4月より現職。



 和歌山大学長
伊東 千尋 氏

名古屋大学大学院工学研究科博士前期課程修了(工学修士(結晶材料工学))、同理学研究科博士後期課程修了(理学博士(物理I))。日本学術振興会・特別研究員、旭化成工業(株)研究員を経て、名古屋大学理学部・助手に就任。1999年に和歌山大学着任、2007年にシステム工学部教授、その後、同学部長、副学長、工学自然科学系長、産学連携イノベーションセンター長等を歴任。
2019年4月より現職。

主催・ホスト大学：和歌山大学

ゲスト大学：愛媛大学・高知大学・三重大学

プログラム

■開会行事 来賓あいさつ 文部科学省（予定）

■基調講演 13:10～14:30

全体テーマ：地方国立大学における特色ある取組と新しいチャレンジに向けて

- 1) 「全世代対応型の「地域における知の拠点」としての多機能化を目指して
ー 地方「国立」大学への期待 ー（仮）」 愛媛大学長 仁科弘重氏
- 2) 「Super Regional University ～高知大学の挑戦～（仮）」 高知大学長 櫻井克年氏
- 3) 「地域に信頼され幸せにつながる三重大学へ（仮）」 三重大学長 伊藤正明氏
- 4) 「紀伊半島から地方国立大学の未来への発信」
～和歌山大学と地域との共創によるイノベーション創出～（仮） 和歌山大学長 伊東千尋

■休 憩

■パネルディスカッション 14:40～16:20

テーマ：地方国立大学における新取組に向けた条件整備と社会的インパクト（仮）

地方国立大学が地域と共創する際に必要となる条件や取組の社会的インパクトについて考えます。

パネリスト

- 1) 愛媛大学長 仁科弘重氏
- 2) 高知大学長 櫻井克年氏
- 3) 三重大学長 伊藤正明氏
- 4) 和歌山大学長 伊東千尋

コーディネーター



西川 一弘（和歌山大学学長補佐／紀伊半島価値共創基幹准教授）

1978年大阪府泉佐野市生まれ。和歌山大学経済学部卒業、大阪市立大学大学院経営学研究科前期博士課程修了。NPO法人わかやまNPOセンター理事・事務局長を経て、和歌山大学南紀熊野サテライト地域連携コーディネーターに。2013年同地域連携・生涯学習センター講師に着任。2020年より現職。専門は生涯学習論、鉄道防災教育、地域交通政策。大学では常に「地域連携」部局に関わり、大学と地域の共創関係について実証的、実践的に考えている。

■閉 会

申込方法等

申込方法：

右記QRコードを読み取り、参加申込フォーム入力画面へお進みください。読み取りできない場合は、下記URLからお申し込みください。



<https://www.kuba.co.jp/region-national-university/form/formmail.cgi>

参加申込期限：令和5年1月21日（土）

参加費：無料

定員：220名

参加申込に関するお問合わせ先：株式会社クバプロ

電話番号：03-3238-1689

メールアドレス：rnu-sympo@kuba.jp

お問合せ先

和歌山大学企画課

住所：和歌山市栄谷 930

電話：073-457-7016

メール：kikaku@ml.wakayama-u.ac.jp

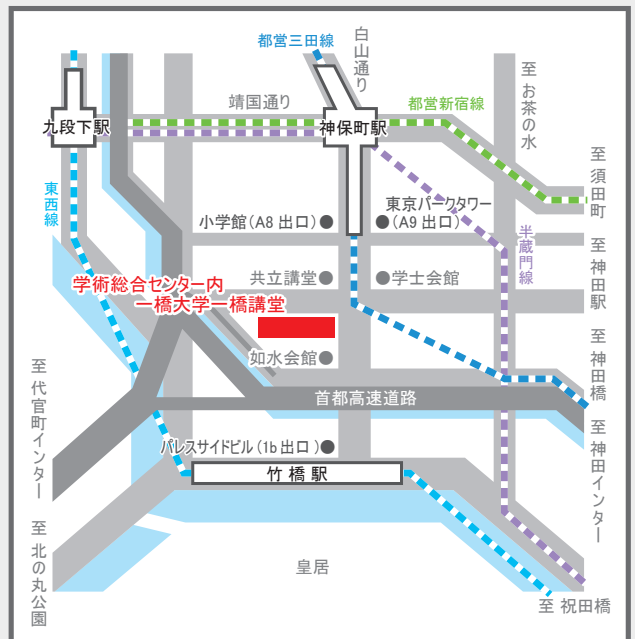
情報保障について

当シンポジウムでは、必要に応じて、要約筆記を行います。

準備・手配の都合がありますので、希望される方は令和4年12月16日（金）までに、

和歌山大学企画課（TEL：073-457-7016 E-mail：kikaku@ml.wakayama-u.ac.jp）までご連絡ください。

アクセス



【一橋大学一橋講堂】

〒101-8439

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内

東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線

神保町駅（A8・A9出口）徒歩4分

東京メトロ東西線

竹橋駅（1b出口）徒歩4分